

学 位 論 文 要 旨	
氏 名	グエン ティ キム クエン
題 目	ベトナムにおけるエビ養殖産業の経営改善に関する研究
<p>ベトナムのエビ養殖業はベトナム経済にとって大変重要な産業であり、その市場が海外を中心とすることから、貴重な外貨獲得産業でもある。国際市場での需要が拡大し価格が上昇するにつれて、エビ養殖業者はバナメイ (<i>Litopenaus vannamei</i>) の集約的養殖生産を拡大したが、その結果魚病が発生し、品質低下や薬品残留のために輸出市場への出荷がストップするケースが増えてきた。この事態に対し、ベトナム政府は VietGAP (ベトナム政府による生産管理規格) に基づいた生産を推奨しているが、その効果は確かめられていない。またこの規格に基づかないで生産を営むしかない零細な業者も存在しており、早急な生産体制の全体的改善が求められている。</p> <p>そこで本研究は (1) 魚病対策としての VietGAP の機能と現状、(2) 品質および食品安全性に対する VietGAP の機能と現状、(3) 持続的発展を目指したエビ養殖産業の今後の課題と方向性を明らかにすることを目的とし、主力産地のメコンデルタ地区において地方政府、協同組合そして養殖業者多数を対象とした詳細な実態調査とその結果の分析を行った。</p> <p>(1) については、VietGAP に基づいて養殖を行っているケースでは生産管理や魚病対策が適切に行われており魚病の発生が少ないこと、その結果、経営的にも良好であることが明らかとなった。</p> <p>(2) については、VietGAP に基づいて養殖を行っているケースでは生産物の品質管理も適切に行われており、販売先からのクレームが少ないことが明らかとなった。しかし品質差別化に基づく国際市場での価格上昇までは結びついておらず、経営的メリットの創出は今後の課題であることも明らかとなった。</p> <p>(3) については、国際的な環境認証制度である ASC (Aquaculture Stewardship Council : 水産養殖管理協議会) の当地区における導入事例の実態分析より、VietGAP では得られなかった価格上昇が ASC の獲得によりもたらされ、経営にメリットを与えることが明らかとなった。またその認証獲得は養殖業者個人では困難であるが、零細な養殖業者が協同組合を構成し、WWF (世界自然保護基金) や輸出業者など関係する外部組織の支援を得れば、大きなコストをかけずに獲得が可能であることも明らかとなった。</p> <p>以上の実態調査より導かれる本研究の結論は、(1) ベトナムのエビ養殖産業において VietGAP は魚病対策や品質管理手法として有効に機能していた。(2) しかし VietGAP 導入がもたらす品質差別化は国際市場での価格上昇に至っていない。(3) 養殖生産管理の改善による経済的メリットは、国際的認証制度である ASC の導入によって初めて顕在化する、以上である。またこれらの結論より、メコンデルタ地区のエビ養殖経営を改善するためには、まず協同組合を設立して組織化を図り、次いで VietGAP を導入し、その経験を土台にして最終的に ASC の導入に至る道筋が望ましいこと、その実現のためには関係する外部組織の支援や輸出業者など流通業者との統合的対応が不可欠であることを提言した。</p>	